

## いらっしやいませ

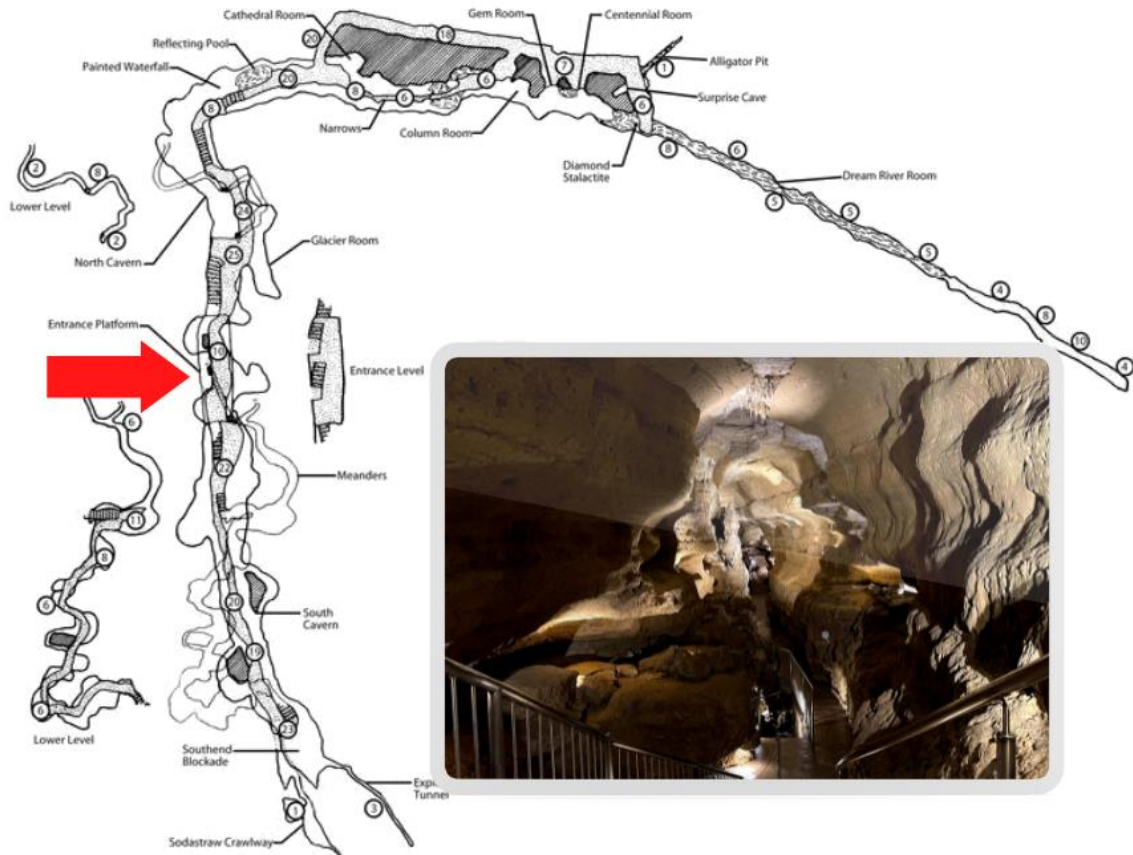
マウンド国立自然ランドマークの洞窟へようこそ! 今日、あなたは自分のペースで洞窟を探索し、地下通路で好きなだけ時間を過ごすことができます。あなたが一緒に旅行するとき、ここに洞窟に関するいくつかの情報があります。

ツアールートはループパスをたどります。洞窟の半分をループしてから、もう一方をループします。洞窟をナビゲートする最も簡単な方法は、道に沿って標識に従って前進し続けることです。スタッフが常駐しておりますので、ご不明な点がございましたら、別のスタッフをお探してください。

洞窟を保護するために、次の規則に従ってください。

- 岩、壁、地形には触れないでください
- 洞窟内では、ガムを噛む、飲食する、電子タバコを吸う、喫煙することは禁止されています
- カメラは大歓迎で、フラッシュ撮影は許可されています。
- 時間をかけて他の人があなたの後ろに来たら、急いでいるのではなく、遊んでもらいましょう。

## ストップ 1 - ディスカバリー サイト



「煙とほこりが晴れると...チャールズ・ブリガム、ランス・ドッジ、ウェイン・ランプマン、ステイシー・コリンズが最初に落ちた岩を乗り越えました...彼らの目は、驚異と壮観な美しさを見た最初の人間の目でした...」 - アロンゾ・ポンド、からオリジナルガイドブック

洞窟のいたるところに見られる岩石は、4億年から5億年前、地質時代のオルドビス紀に形成されました。かつてこの地域を覆っていたオルドビス紀海の底には、堆積物と古代の貝殻の海の生き物が集まりました。時間の経過とともに堆積石灰岩が形成されました。

マウンドの洞窟1939年8月4日、採石場の労働者が地元の道路プロジェクトのために石灰岩を爆破した後、偶然発見されました。わずか3時間後、最初の探検家が洞窟に入りました。

1939年8月4日に最初の探検家が行ったのと同じ入り口から洞窟に入ります。乗組員は採石場で働いていて、その地域から石灰岩を採掘して、近くの道路用の砂利を作っていました。1,600ポンドの発破粉が、採石場の壁の上部にある8つの穴にポンプで送り込まれました。爆風の後、岩とほこりがゆっくりと落ち着き、岩に穴が開いた。最初の探検家はわずか3時間後に洞窟に入りました。

以前の録音からのインタビューの引用:

「ランス・ドッジとウェイン・ランプマンが最後の穴を掘削し、1600ポンドのダイナマイトを積んだその忠実な1939年8月の日に、何かが正しくありませんでした。彼らはブルー・マウンズの近くの採石場で岩を爆破していました。ランスの兄は覚えている。」 - 1989年頃のレポーター

「私たちは掘削していましたが、突然、底が落ちました。」 - バーノン・ドッジ、ランス・ドッジの兄弟

「ドッジは、それはただの割れ目だと思っていたと言いました。しかし、このような爆発で、彼らはすぐにマウンドの洞窟として知られるようになった場所を利用しました。」 - 1989年頃のレポーター

「ガラスが落ちるような音がして、ちょっと怖かったです。」 - Sanford Kleven、採石場の労働者、洞窟発見の証人。

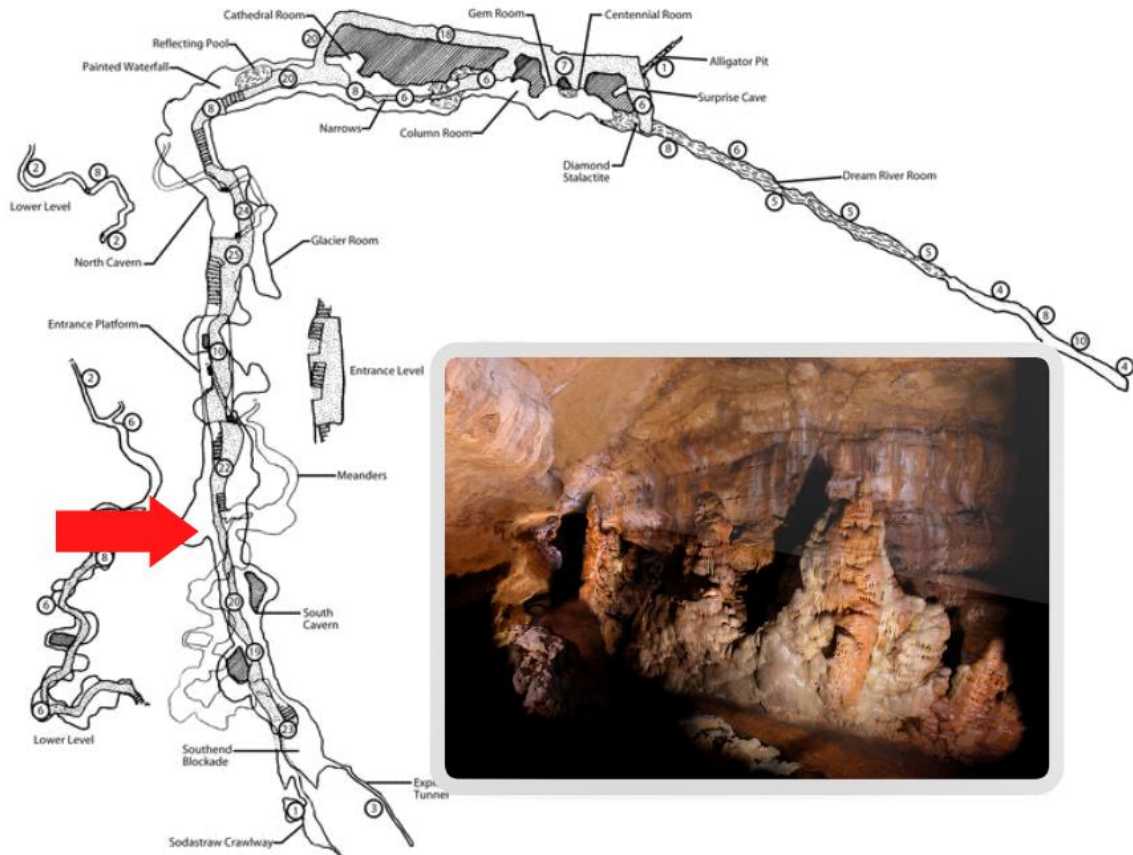
「私たちは皆、身を隠しました。そして...私たちは皆...とても元気でした...これが吹き飛ばされたとき、私たちはかなり驚いていました。 - ボブ・ジェイコブソン、トラック運転手、洞窟発見の証人。

「かなり大きなオープニングだったようです。その後、鍾乳石が落ちる音が聞こえました。ガラスが割れるような音だった。」 - Sanford Kleven、採石場の労働者、洞窟発見の証人。

「このどこかに洞窟があることはわかっていました。そしてもちろん、それ以上かもしれません。」 - スティシー・コリンズ、農夫、マウンドの洞窟に最初に足を踏み入れた人の1人。

初めてこの洞窟をのぞき込んだときの気持ちを想像してみてください。探検を始めたときの今日のワクワク感に似ているかもしれません。

## ストップ 2 - オニクス リッジ



「地質学者には、岩は覚えているということわざがあります。」 -ニール・アームストロング

マウンズの洞窟の南の洞窟を歩いていると、石筍の上にある天井の岩に明確なひびが入っていることに気づきます。この亀裂は自然に形成された裂け目です。このような多くの多孔質の空間と亀裂は、石灰岩の層が水によって形成されたり、時間の経過とともに乾燥したりして形成されました。これは、大量の水が洞窟に浸透する場所であるため、多くの鍾乳石がこの亀裂に沿って配置されています。洞窟で見られる地層の集まりは、鍾乳石と呼ばれます。これらの中には、天井に「きつく」ぶら下がっている鍾乳石と、地面から立ち上がる石筍があり、いつか天井に「届くかもしれない」。

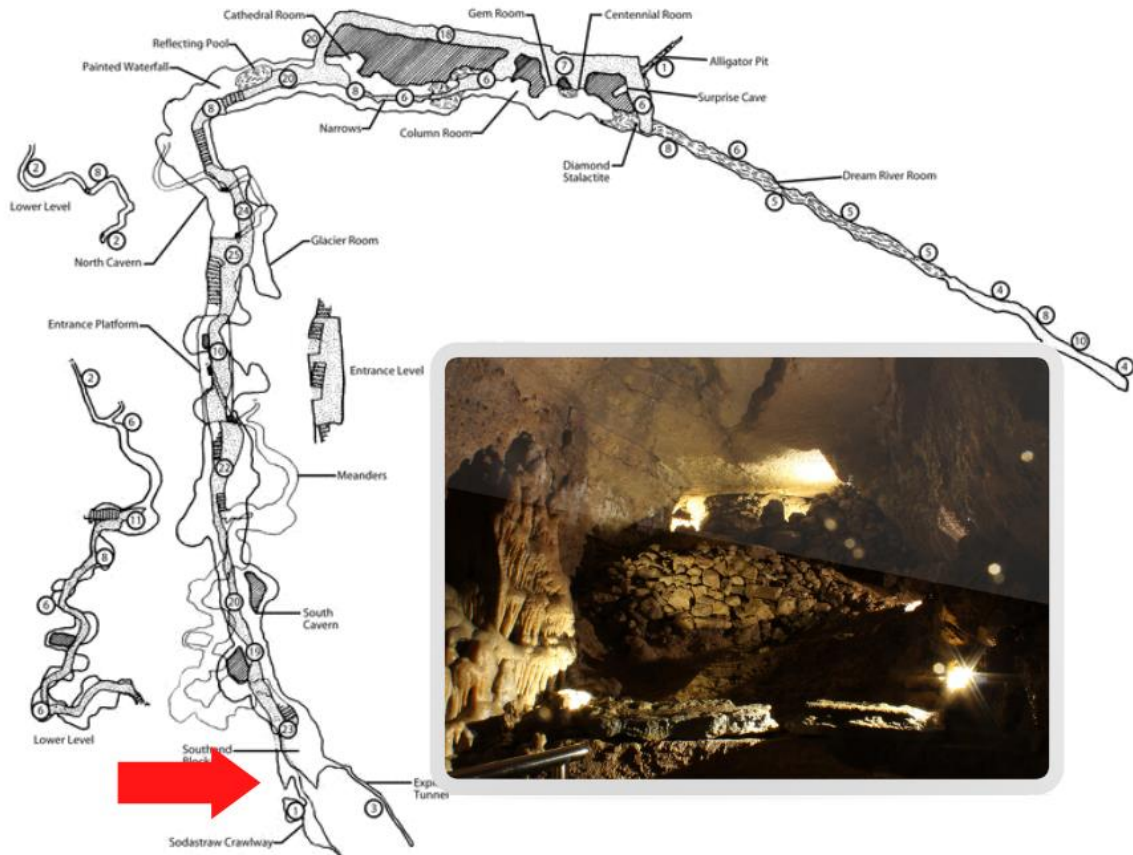
岩は溶けたワックスのように見え、非常にゆっくりと積み上げられます。洞窟内の水の量は、成長率を助けたり妨げたりします。多すぎると、水滴から結晶が沈殿するのに十分な長さの水が垂れ込めず、遅すぎると、蓄積するミネラルが多くありません。博士号によって最近行われた研究 マディソンにあるウィスコンシン大学の候補者は、ここマウンドの洞窟で知られている平均的な成長率は、100年で約1cmの成長であることを示しています。

以前の録音からのインタビューの引用:

「吹き飛ばされた途端、まるでそこに這い入ったかのようでした。そこは美しい。この世のものとは思えないものです。」-マートル・ランプマン、発見の目撃者。

「私を最も不安にさせたのは、あなたが懐中電灯で行っていて、いつドロップオフにぶつかるかわからなかったということです。行き詰まるのを防ぐことができます。渡れない水や降りられない場所に、いつ突然やってくるかわかりませんでした。」-採石場を所有していた農夫の娘、エリザベス・ブリガム・ルーニー。

## ストップ 3 - サウス エンド



「地質学は、自然の有機界と無機界で起こった連続的な変化を調査する科学です。」 - チャールズ・ライエル

化石は、遠い過去からの生物の残骸、印象、または痕跡です。最後の石筈の真上を振り返ると、4億年から5億年前にここに生息していたイカである巨大な頭足類の化石が垣間見えるかもしれません。

マウンドの洞窟ここには数十の化石が生息していますが、最大のものは長さ約6フィート(約2メートル)です。洞窟にあるこの化石は、巨大な頭足類の円錐形の殻です。手すりが始まる最後の石筈の真上を見ると、洞窟の天井に細長い隆起があることに気付くでしょう。これは、巨大な頭足類と呼ばれる古代の海の生き物の残骸です。頭足類は、かつてこの地域を覆っ



ていた古代の水域であるオルドビス紀海に生息していたイカのような海洋動物です。

地域のがれきの山である南端の封鎖は、前方への通過を禁止しています。この瓦礫の山は陥没穴の底であり、洞窟地域の地名であるカルスト地形によく見られます。地表下の水は侵食されていきます。岩盤が急速に侵食されると、シンクホールが発生する可能性があります。岩がその下でゆっくりと侵食されたため、洞窟の天井は最終的に弱くなり、崩壊しました。崩壊の日付は不明です。

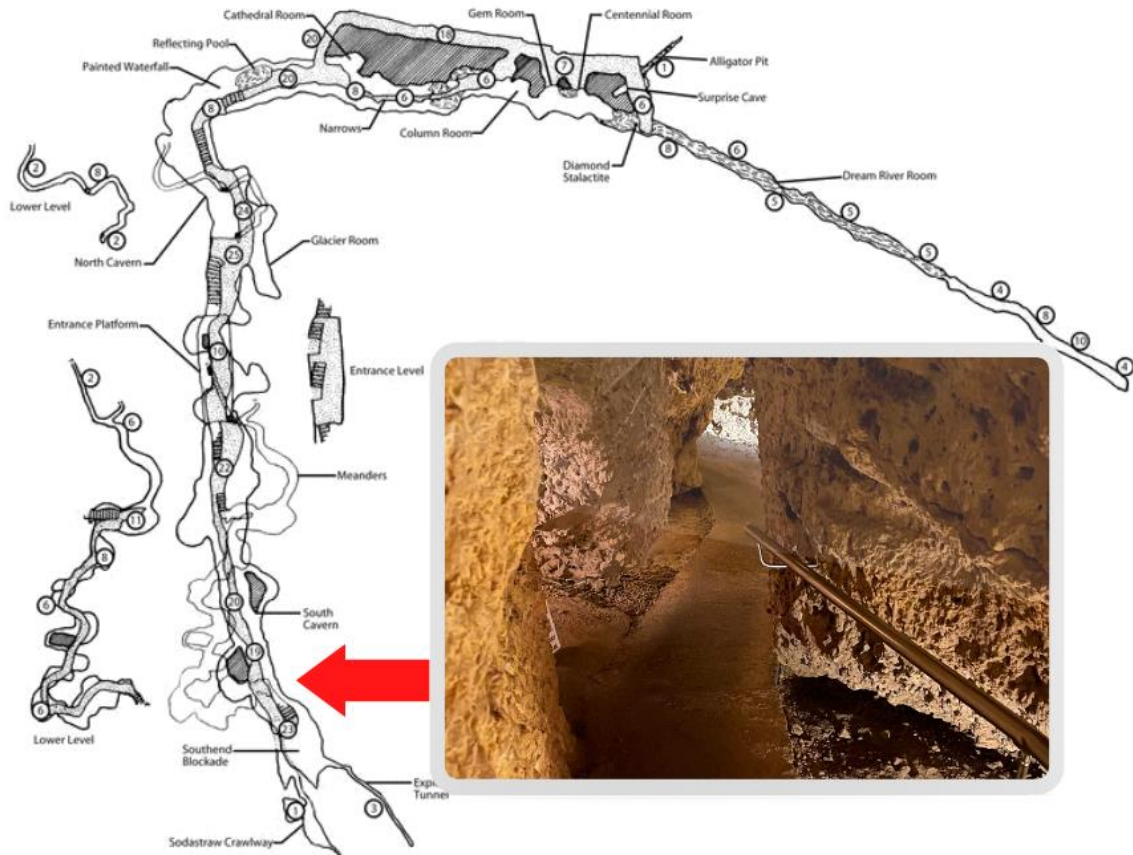
このような洞窟は非常に頑丈で、崩壊の危険はありませんが、最初に形成されたとき、このスポットはそれほど強力ではありませんでした。今日ではどこにも行き場がありません。上は沈んだくぼみで、現在は非常に固くなっています。これは、カルスト ビュー トレイルで見つけることができます。駐車場の近くに情報標識のある大きなオークの切り株が、このエリアの表面上にあります。

内訳の左上に探査トンネルが見えます。洞窟学者と呼ばれる洞窟科学者は、崩壊した物質を掘り下げて、洞窟をさらに見つけました。ウィスコンシン洞窟学会のメンバーは、1973年の冬から1974年の冬にかけて、これに取り組みました。彼らは、長さ約70フィートまたは21メートルのトンネルを掘りました。新しい洞窟通路が発見されなかったため、プロジェクトは放棄されました。そして、不安定で危険な状況のため、プロジェクトは中止されました。より高度な研究では、この点を超える大きな通路は除外されています。これはマウンズの洞窟の最南端として受け入れられています。

あなたの周りの石灰岩を見てください。岩の表面全体にあるさまざまな穴に注目してください。これらの穴は **vug** と呼ばれます。石灰岩の層が見えますか？どのレイヤーが最も古いと思いますか？最年少？



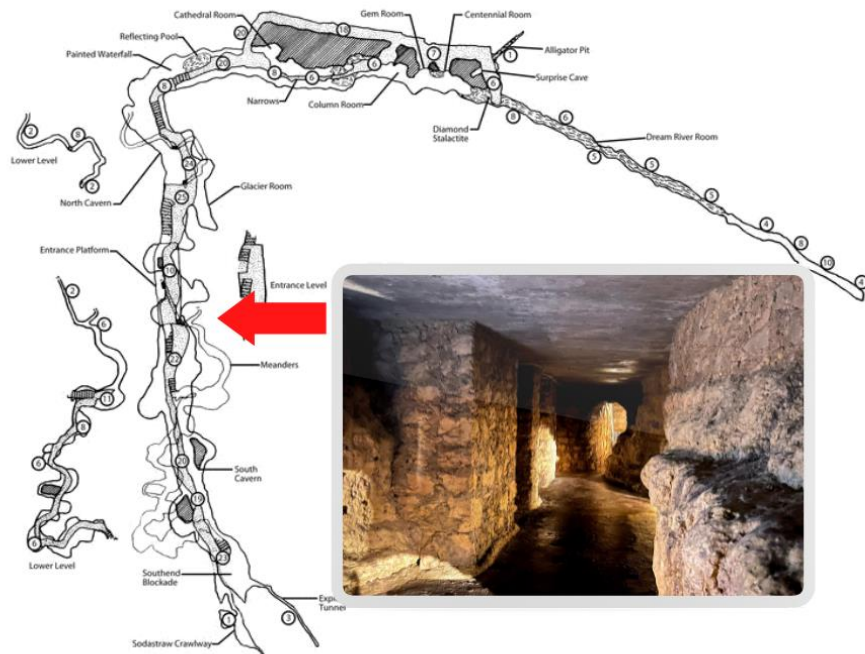
## 停止 4 - 蛇行



洞窟のこの部分は蛇行として知られています。それは地下の小川によって彫られました。この岩の水路を歩きながら、周囲の岩盤を侵食する水の流れを想像してみてください。トレイルに沿ったピットとジグザグは、それを作成した渦巻く急流の元のルートを探ります。散歩中、洞窟ツアーの最下点である 70 フィート (地表下約 21 メートル) に到達します。

洞窟の壁にも強い水流の跡があります。ホタテと呼ばれる、岩のこれらの三日月形のくぼみは、それらを形成した地下の流れの方向と速度の両方を示すことができます。大雨が降った後も水はマウンドの洞窟を通り抜けませんが、地下水面は現在数百フィート下にあるため、これらの水路は大きくありません。

## 停止 5 - 調査中



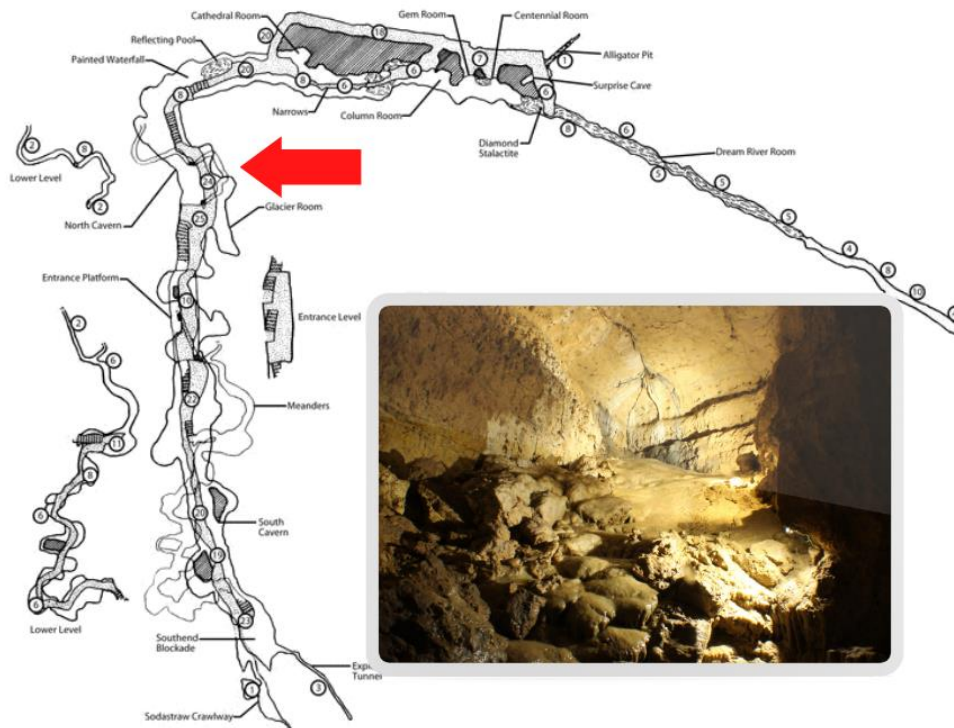
「...下の通路を見下ろすことができます...棚とコルク栓抜きに似た下の通路が迷路に混ざり合っており、洞窟の水が地中に深く入り込むときにたどりました。」-アロンゾ池、元のガイドブックより

ほら、発見スポットの下に戻ってきました。マウンズの洞窟が発見されたとき、採石場の爆風で洞窟の天井がここに落ちました。

また、セメントの通路にますます多くの穴が見つかります。穴は、新しい湿ったセメントに滴る水によって始まりました。水が同じ場所に滴り続けたため、これらの穴はおそらく拡大されました。

この部屋の後ろの棚の下を見ると、がれきが散らばっている水で彫られた通路が続いているのがわかります。これは、今日残っている発見日の爆発の残存証拠です。

## ストップ 6 - 北の洞窟



「ここでは、自然が作った洞窟を見る機会があります。これは本当に手付かずの自然の驚異です。」- EF ビーン博士、ウィスコンシン州地質学者、1940 年頃

ここで天井を見ると、石灰岩にいくつかの収束する亀裂が見えます。これは、ここで発生した化学的侵食の量が増加した証拠であり、この部屋が他の部屋よりもはるかに大きくなっている可能性があります。また、ここが2つの洞窟が合流した場所であった可能性も示唆されています。

南の角を見て、今来た方向に戻ります。床に形成された方解石をフローストーンと呼びます。フローストーンは鉱物の表面コーティングで、通常は方解石であり、鉱物を帯びた洞窟の水の流れによって堆積します。水は、この地層の頂上にある頂上マウンドのすぐ上にあるプールから来ています

。流石には頭を岩に乗せたアザラシ「アザラシのサミー」が座っています  
。彼を見つけることができますか？

流石の上、隅の方に木の根のように見えますが、根はリボンのように細い形をしています。これはリボン鍾乳石またはドレープと呼ばれますが、親しみを込めて「洞窟ベーコン」と呼ぶ人もいます。これは、洞窟の傾斜した天井や壁に沿って滴り落ちる水が、鉱床の痕跡を残すときに形成されます。時間が経つにつれて、これらの方解石のストリップが互いに積み重なり、方解石の狭い尾根を形成します。

これは、私たちの洞窟システムの中で最も大きな部屋の1つです。東洞窟系への移行点です。階段が通っている内訳は、階段をくぐると見える流石がトッピングされています。

岩の形を私たちの上の世界のものとして想像できるかどうかを確認してください。流れ石のシール、天井のストロー、または巨大な足跡や顔などです。このイメージは、私たちが心と心の視点で作る連想の楽しい実験です。この地下のワンダーランドで目の前に見える幻想的なシーンを理解しようと努力しているため、どこにでもある洞窟ツアーは想像力に富んだ地層の名前でいっぱいです。

以前の録音からのインタビューの引用:

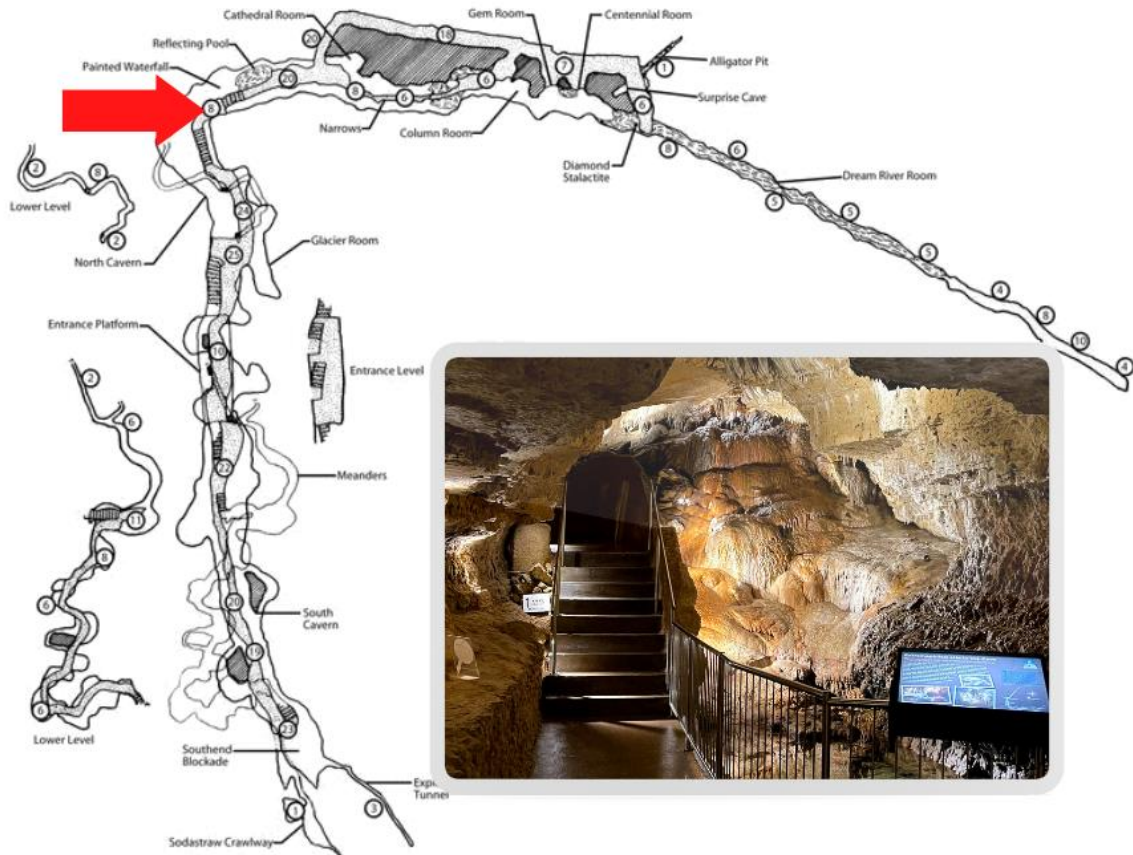
「この驚くべき発見についての噂はすぐに広まりました。地質学者は、この地質学的宝物を保護するための準備が整うまで、入り口を封鎖するようブリガム夫妻に助言しました。」 - 1989年頃のレポーター

「人々が見に来たいと思うものであることはわかっていました。そして、それは開発されるべきです。」 - Fred Hanneman Jr.、開発者 Fred H. Hanneman の息子

「自然現象に関して言えば、1939年以降にウィスコンシンで発見され、これほどまでに影響を与え始めたものは他にありません。」 - Jack Halzhueter、歴史コンサルタント



## ストップ7 - 塗装された滝



「自然界のひとつのものを引っ張ると、それが他の世界に結びついていることに気付く。」-ジョン・ミューア

階段横の流石構造は彩色滝と名付けられました。ここでは、異なる鉱物の存在により、主に3つの異なる色が見られます。ミネラルの方解石は白です。酸化鉄は赤、オレンジ、茶色を与えます。マンガンは、黒、青、紫、灰色の色合いを与えます。この美しい造形を色で塗られたように見えることから、「塗られた滝」と呼んでいます。

塗装された滝は、北の封鎖または崩壊、2番目の洞窟内陥没穴の底を隠しています。これは、その崩壊がどのくらい前に起こったかを示しており、

現在は非常に強力であるか、流石に沿って亀裂が見られることを示しています。

私たちの洞窟の食物連鎖は非常に短いです。私たちの洞窟には3つの在来種がいます。1つ目はトビムシと呼ばれる昆虫です。トビウオは主に水たまりで観察されており、水たまりが乱れることはめったにありません。これらのトビムシは私たちの水中のバクテリアを食べます。私たちは主に2種類の細菌を持っています。一つは、マンガンを好むレプトスリックスです。もう一つは、鉄が大好きなガリオネラ菌です。彼らは鉱物を酸化させて変化させ、その結果、私たちの洞窟で見られる色が生まれます。

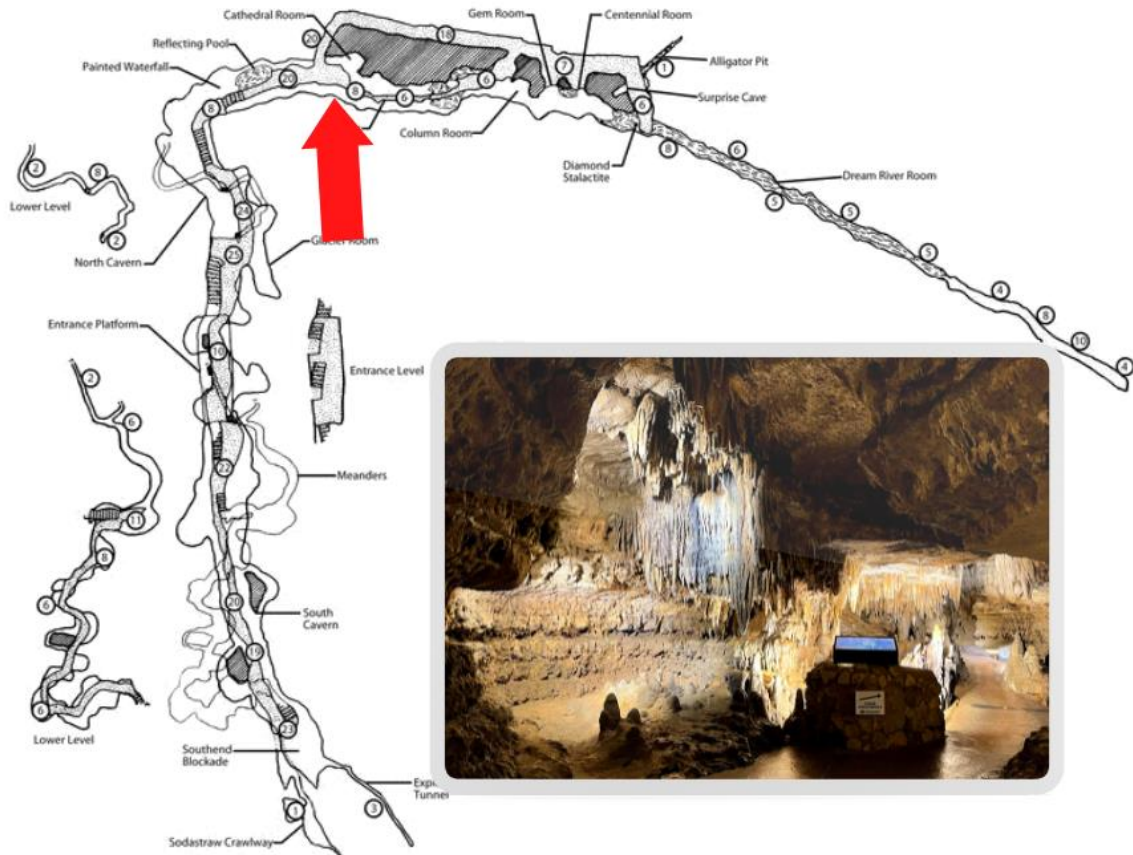
水たまりの少し上に、焦げたブロッコリーのような形があります。これは洞窟サンゴで、非常に一般的な洞窟形成です。さまざまなサイズ、形、色がありますが、ほとんどの場合、ポップコーンに似た小さなこぶのあるクラスターで見られ、「ケープ ポップコーン」と呼ばれることもあります。洞窟サンゴ、この暗くでこぼこした方解石層は、このプールのかつての水位を反映しています。

洞窟全体にいくつかのドームが見られますが、そのうちの最大のもは私たちの上にあります。深さは5フィート以上あり、水面を見下ろすと、上にこのドームが美しく映し出されます。このドームにはいくつかの可能な説明があります。おそらく、硫酸がドーム形成の原因であるか、またはおそらく石灰岩の亀裂が急速な溶解を可能にするように配置されたか、またはおそらくドームは、メインの洞窟の上の小さな洞窟が2つの間の岩としてそれに接続されているために生じた洞窟が溶けた。

管状の鍾乳石、またはソーダストローは、塗装された滝の真上にある天井にあります。これらの壊れやすい鍾乳石は、水滴によって沈着した方解石のリングから中央が空洞になっています。水はソーダストローの内側を流れ落ち、底に方解石の堆積物を残します。

円錐形の鍾乳石(つらら)は、ソーダストローの真ん中の穴が塞がれ、外側に水が流れて厚くなるときに形成されます。

## 停留所 8 - 大聖堂の間



あなたは今、マウンドの洞窟の道路の下を渡っています。この場所から先に進むと、駐車場の入り口から道路を挟んだ向かいの畑の下にあるウィスコンシンの岩盤を歩いていきます。

このエリアはカテドラルルームと呼ばれます。カテドラルルームまたはチャペルルームというニックネームは、パイプオルガンを連想させる大きな鍾乳石の配列に由来しています。洞窟が発見されたとき、採石場の所有者の娘であるエリザベス・ブリガム・ルーニーは15歳でした。彼女は日記に「洞窟はとても素敵で、大聖堂の洞窟と呼ぶかもしれません」と書いています。名前は選ばれませんでした。私たちは彼女のためにこの美しい部屋を用意しています。



1970年代からカテドラルルームで結婚式を行ってきました。最初の結婚式は1973年に2人のツアーガイドの間で行われました。Cave of the Moundsでの結婚式は非常に一般的で、毎年2～3回あります。

大聖堂の部屋の床にある石筍の断面に気づきましたか。木の切り株に似ています。地層の上を流れ落ちる水が、時間の経過とともに鉱物の層を形成すると、リングが形成されます。雨季にはより厚い年輪が形成されます。乾燥期には薄くなります。鍾乳石と石筍の輪は、地層の年代を決定するためには使用されません。しかし、リングの厚さと色の変化は、過去25万年間の気候変動について多くを物語っています。

オウムのポリーは、右側の小道近くの鍾乳石群の上にある石筍です。オウムのポリーの石筍はほぼ純粋な方解石で、半透明です。それは、次のセクションの直前に天井のむき出しのパッチからかつて成長した鍾乳石のグループの上に成長しています。鍾乳石の束全体がずっと前に崩壊し、元の場所から数フィート離れたところに逆さまに沈みました。これらの重い鍾乳石がどのように落ちたりひっくり返ったりしたかはわかりません。水または泥の存在が、地層の現在の位置を説明している可能性があります。

これらの洞窟での洪水のエピソードはいつ発生し、ポリーのとまり木と氷河の融解による洪水との関係について何が言えるのでしょうか？洞窟の保全とこの隠された宝の保護は、私たちにとって最優先事項です。1988年、Cave of the Moundsは、国立公園局との官民パートナーシップにより、国立自然ランドマークになりました。連邦法により、洞窟から何かを傷つけたり、取り除いたりすることは違法です。

洞窟で洪水がいつ発生したかを知ることは不可能です。時間の経過に伴う各エピソードは非常に多くの変化をもたらし、洞窟を今日私たちが見たり経験したりするものに形作っています。私たちは知りませんし、おそらくこれからも知りません。しかし、科学の進歩により、ポリーの近くで成長している近くの石筍の1つが約2,000年前のものであることがわかりました。

最近の調査研究では、マウンドの洞窟の地層が 250,000 年以上にわたって成長してきたことが示されました。ウラン-トリウム年代測定により、マウンドの洞窟で最も古い地層が 257,000 年前に形成され始めたことが明らかになりました! これはこれまでに中西部で記録された最古の石筈で、頭足類の化石が見つかった南の洞窟にあります。

以前の録音からのインタビューの引用:

「エリザベス・ブリガム・ルーニー、洞窟が発見されたとき、彼女は15歳でした。」 - 1989年頃のレポーター

「私を最も不安にさせたのは、あなたが懐中電灯で行っていて、いつドロップオフにぶつかるかわからなかったということです。行き詰まるのを防ぐことができます。渡れない水や、降りられない崖にいつ突然やってくるかわかりませんでした。」 - エリザベス・ブリガム・ルーニー、洞窟所有者チャールズ・ブリガム・シニアの娘

「ルーニーはこの土地で育ち、1939年の夏の残りの間、洞窟を這い回った。彼女の父親は、ホレブ山の開発者に次の春にビジネス用の洞窟を開くよう招待し、それ以来、マウンドの洞窟は 500 万人以上を収容してきました。」 - 1989年頃のレポーター

「Lucille Brechler は、ウィスコンシン州の大きな観光名所の 1 つを訪れた最初の危険な日々を覚えています。」 - 1989年頃のレポーター

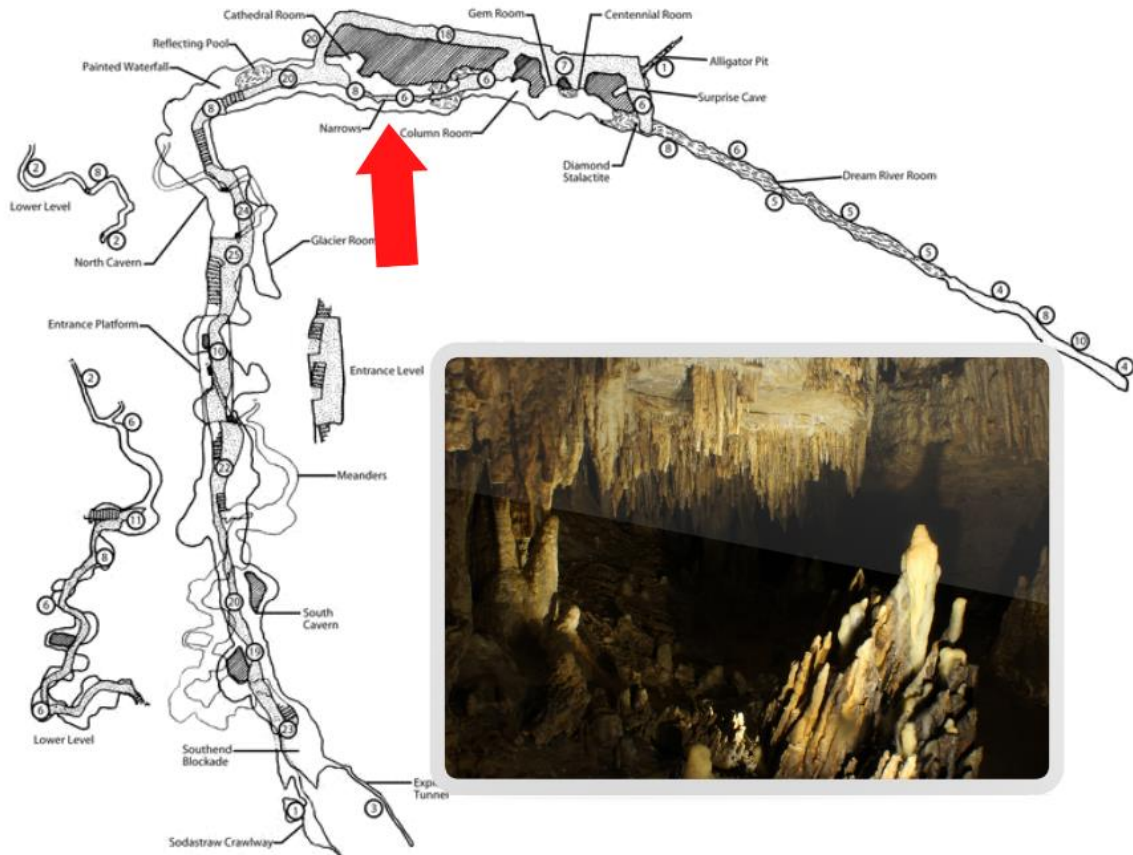
「彼らは妻をそこに連れ出し、私たちを連れて行きました。あなたがこのすべてを乗り越えて、足元やすべてに気をつけないければならない前に。そして、私たちはそれをOKしました。私たちは何が起こるかわかりませんでした。」 - ルシル・ブレヒラー、洞窟開発者カール・P・ブレヒラーの妻

「ブレヒラー家とハンネマン家は、その後 30 年間、年間 100,000 人の訪問者が洞窟を通り抜けるのを見ました。子供たちはガイドを務めたり、ポストカードのポーズをとったりしました。」 - 1989年頃のレポーター

「大変な作業でした。みんなで頑張りました。ほとんどの子供たちと、両方の家族のすべて。彼らは皆、さまざまな時期にそこで働いていました。私たちのために働いてくれた多くの素晴らしい人々がいました。」 - ルシル・ブレヒラー、洞窟開発者カール・P・ブレヒラーの妻

これは、数千年または数百万年にわたる極端な出来事によって中断された、長期にわたる緩やかな変化の証拠がある地域です。鳥がとまっているような石筍を探してみましよう。「Narrows」に入ると、左側の洞窟の床にある洞窟のセグメントに注目してください。

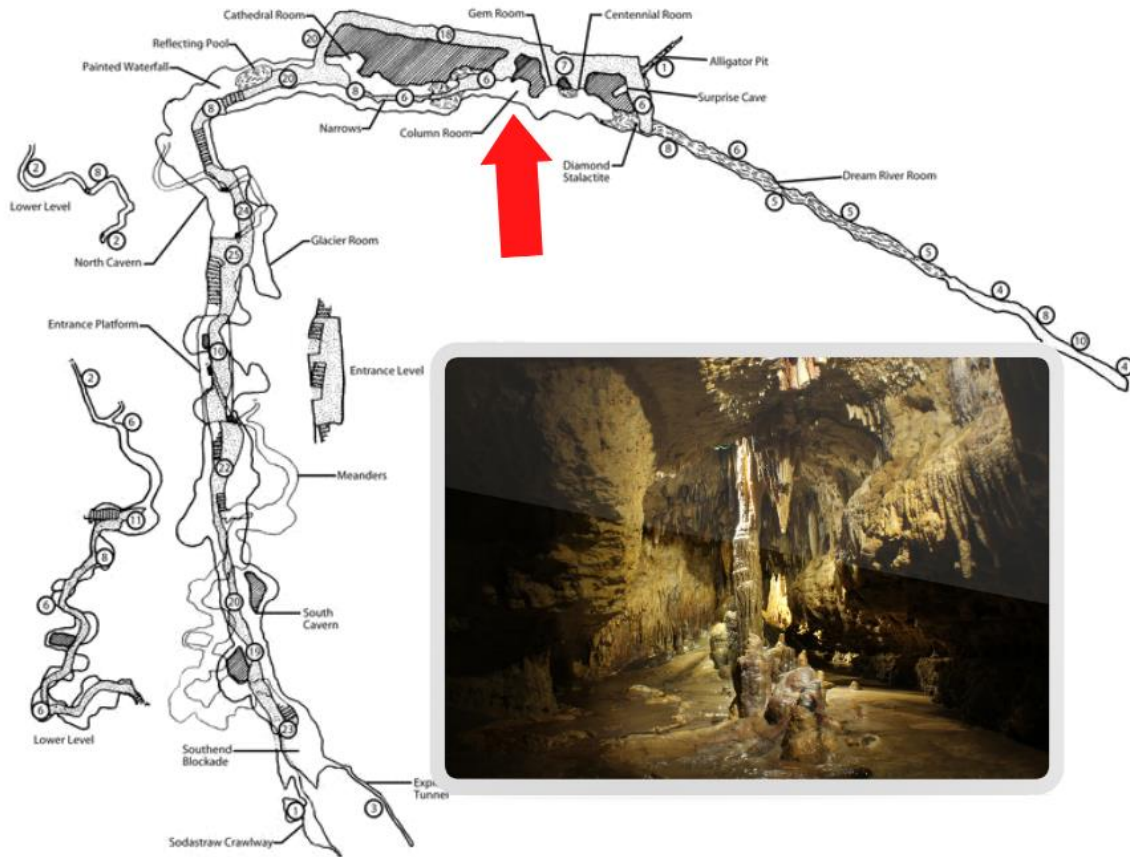
## ストップ 9 - ナロウズ



「地球は時間の経過とともに、いつのまにかゆっくりとした変化によって変容し、破壊と再構築の定期的なサイクルを経てきました。その多くは、今日私たちの身の回りで見ることができます。」 - ジェームズ・ハットン、「地質学の父」、1788年頃

パスは現在、さまざまな洞窟形成が並ぶ通路を通過して進んでいます。ナロウズを通過する際、横に曲がらなければならない場合があります。水は通路の両側にあり、深く見えますが、これは反射による錯覚です。水の深さはわずか数インチです。

## ストップ 10 - コラムルーム



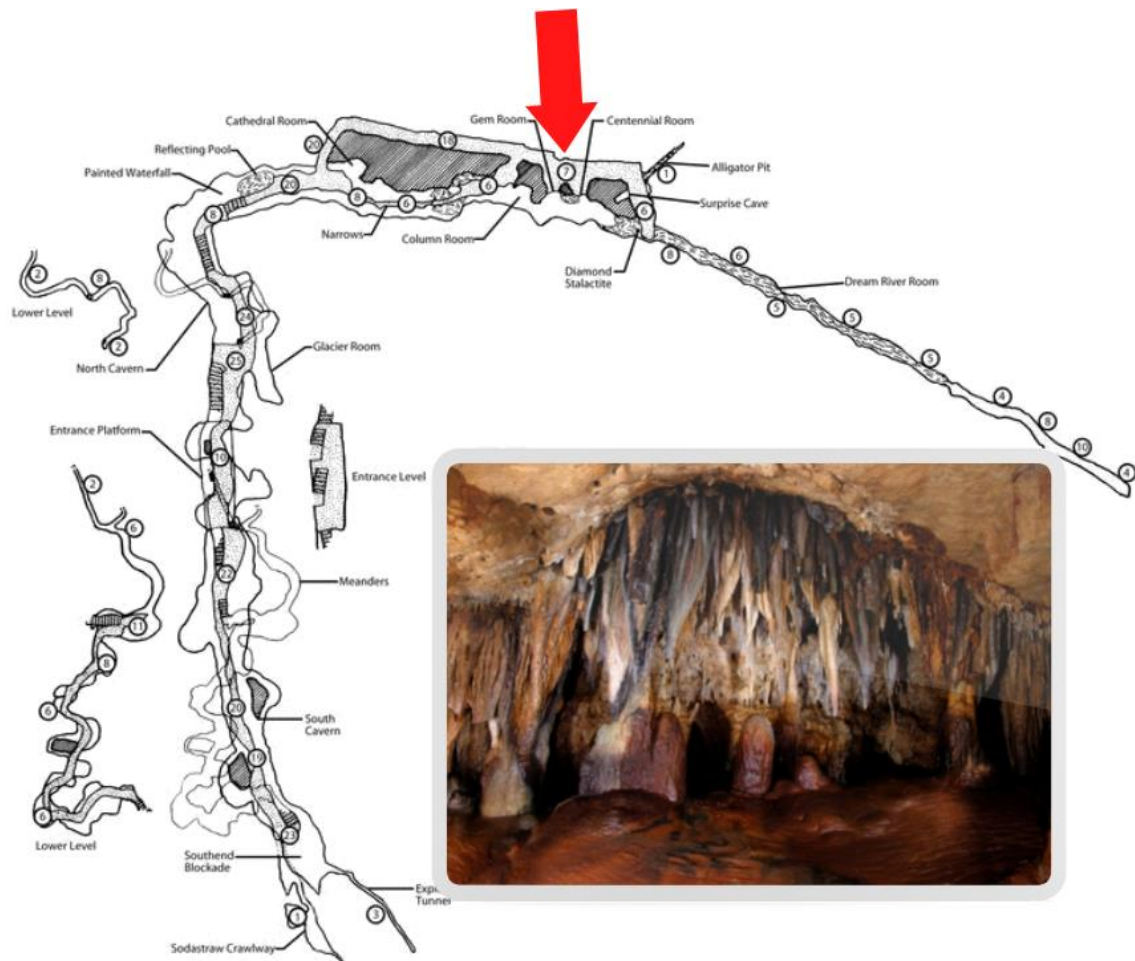
「あなたがこの洞窟にいるような環境を説明するなら、ここにいるとき、それがどれほど奇妙であるかに気づきません。そして、ここの自然環境は完全な暗闇です。地質学については、学ぶことがたくさんあります。洞窟自体だけでなく、ウィスコンシンが時間とともにどのように変化したかについても説明します。世界は素晴らしいもので溢れていることを実感させられます。そして、それらの多くはあなたが思っているよりも身近にあります。角を曲がったところ、100 フィート離れたところ、地下 100 フィートのところに驚くべきものが存在する可能性があります。そこにはあらゆる種類の驚きがあり、驚きの性質と同様に、どこにあるのか、どこに現れるのかわかりません。彼らはそこにいて、この洞窟もその1つです。」  
— リチャード スローター博士、マディソン大学地質学博物館館長

柱の形成は、鍾乳石と石筍が結合して柱状の構造を形成するときに発生します。このエリアには多くの列があります。鍾乳石と石筍と一緒に成長したり、どちらかが床や天井に達したりして柱が形成されます。

東の洞窟は円柱を越えて約 300 フィート続きますが、非常に狭く、信じられないほどの洞窟で満たされているため、通り抜けることは実際的ではありません。東の洞窟の一部と平行にトンネルがあり、洞窟の美しさを損傷することなく楽しむことができます。

洞窟ツアーの次のセクションに移動すると、人工のトンネルに入ります。トンネルは 1957 年に完成し、訪問者は地層の自然の美しさを保ちながら洞窟の残りの部分を見ることができます。これは人工のトンネルですが、すでに多くの地域で形成されているため、壁や天井に触れないようになっています。

## ストップ 11 - ビューティールーム



以前の録音からのインタビューの引用:

「人々が見に来たいと思うものであることはわかっていました。そして、それは開発されるべきです。」 - Fred Hanneman Jr、洞窟開発者 Fred H. Hanneman の息子

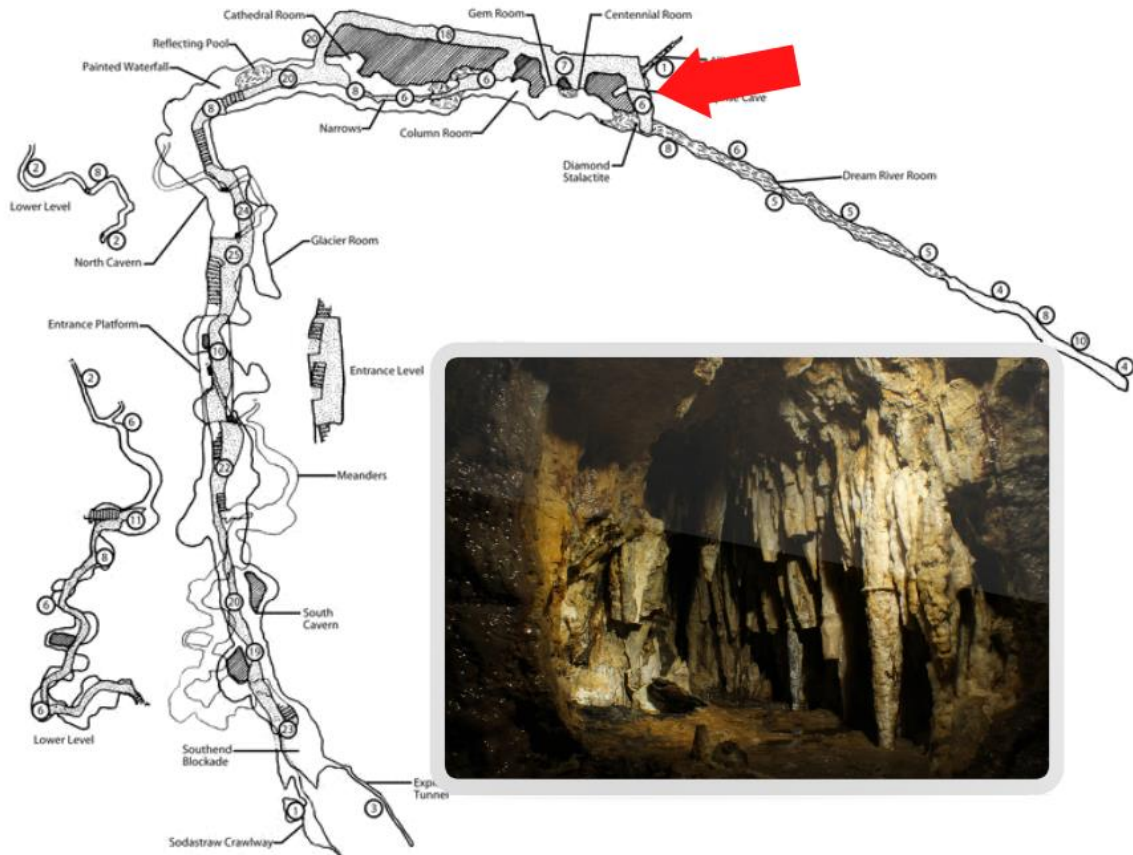
これらの 2 つの窓は 1948 年に一般公開され、地下の洞窟環境で可能なさまざまな形成を垣間見ることができました。最初のウィンドウはジェムルームで、1946 年にオープンし、1948 年にセンテニアルルームがオープンしました。ウィスコンシン州が州になってから 100 年後に一般公開されたため、その名前が付けられました。



これら2つのウィンドウ内で、ほぼすべてのタイプの鍾乳石の例を見ることができます。ユニークな蜂の巣の石筍とドレープ状の鍾乳石を探してください。

洞窟の垂れ幕がカーテンのように垂れ下がり、いくつかの石筍は蜂の巣に似ています。リムストーンダムは流石の表面に沿って曲がりくねった水たまりを作り、棚石は下から出てくる水たまりを保護します。洞窟の床から天井まで巨大な柱がそびえ立っています。

## ストップ 12 - サプライズ ケーブ



「人々は石筍や鍾乳石を見て美しい造形物だと思っていますが、地球の気候について時間の経過とともに保持している豊富な知識に気づいていません。」 - キャメロンバチェラー博士、ウィスコンシン大学マディソン地球科学部

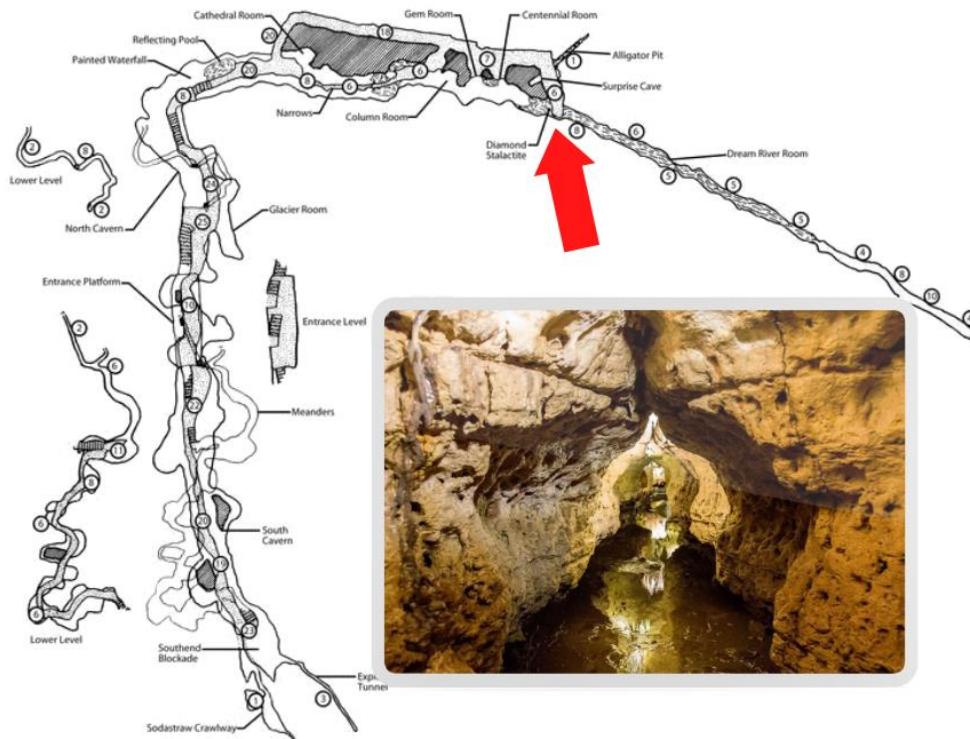
この地域は 1957 年に発掘され、この驚きの洞窟が最初に発見されたのはその時です。トンネルを掘っている人々は、そこにあることを知らなかったため、この洞窟は驚きでした。

洞窟は、自然にできた、人が入るのに十分な大きさの岩の穴として定義されています。この穴はサプライズケーブと呼ばれています。このような小さな洞窟は石灰岩で一般的であり、ウィスコンシン州に豊富にある可能性

が最も高い. ウィスコンシン洞窟学会によると、ウィスコンシン州には 400 の既知の洞窟があります。

驚きの洞窟の下には、オニキスのリボンがあります。このセクションでは、ウィスコンシン大学マディソン地質科学生キャメロン・バチェラーによって、ウラン-トリウム年代測定によって小さなサンプルが採取されました。彼女は、サンプルが約 121,000 年前のものであることを発見しました。

## 停留所 13 - ドリーム リバー

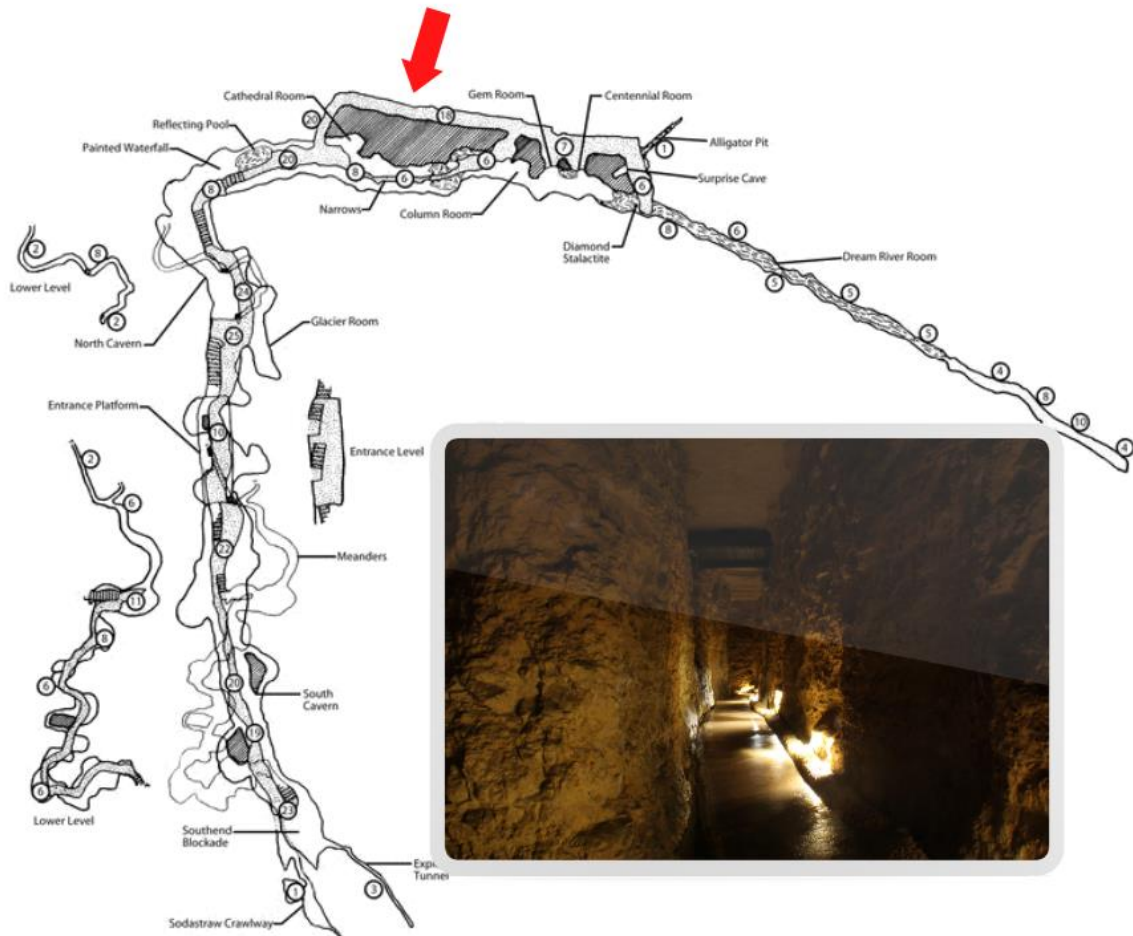


「自然を深く見れば、すべてをよりよく理解できるでしょう。」 - アルバート・アインシュタイン

東の洞窟のこの最後のセクションは、ドリーム リバーを見下ろすドームエリアで終わります。ドリーム リバーは 250 フィート後方に伸び、最後は急に狭くなります。「川」の水のプールは、しばしば見事な反射を保持します。このエリアはかつて「ロング ポンド」と呼ばれていました。これは、最初のマネージャーであるアロンゾ ポンドと、旧姓がロングであった彼の妻へのオマージュであると噂されています。

上を見ることを忘れないでください！洞窟の割れ目は再び頭上にあり、アイフルドームとともに、色と目いっぱいの水でいっぱいです。洞窟のキスは、受け取った人に幸運をもたらすと言われている水のしずくです。

## ストップ 14 - 人工トンネル



このトンネルの天井が非常に高い理由は、数学的な誤りでした。請負業者がトンネルエリアの掘削中に洞窟の深さを誤って推定したためです。彼らがエラーを発見したとき、彼らは列の部屋エリアに到達していました。そのため、美容室と驚きの洞窟エリアの天井ははるかに低くなっています。

洞窟を出ると、トンネルを通り抜けます。天井を見上げて、坑道の底を見つけます。人工トンネルの開発に使用された機器のほとんどは、この立坑を通して運ばれました。この立坑の頂上は、駐車場の入り口から左を見ると、マウンズロードの洞窟の向こう側に見えます。少し青い屋根のように見えます。

本日はご来場いただき誠にありがとうございました。洞窟を楽しんでいただき、自然の場所を保護し、保存するために私たちがあなたを鼓舞したことを願っています。

「これまで知らなかったものがここにあるというのは、本当に驚くべきことです。ウィスコンシンではそのような経験はあまりありません。新しい発見は本当に珍しいものです。」 -**Jack Holzehueter**、歴史コンサルタント